

— 株主のみなさまへ —

BUSINESS REPORT

2021.4.1 ▶ 2022.3.31

おかげさまで井村屋グループは
2022年に創業125年、
会社設立75周年を迎えます。

Be always for Customers!
井村屋グループ株式会社

あずき花



imuraya group

第85期 報告書

あずきの皮使用



あずき混抄紙 紅金剛

この株主報告書の表紙に使用している紙は、
井村屋本社工場にて生あんの製造時に出る
あずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



代表取締役会長 (CEO) (CMO) 浅田 剛夫
代表取締役社長 (COO) 中島 伸子

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・すぐれたサービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

「Be always for Customers!」

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第85期(2021年4月1日～2022年3月31日)を終了し、株主報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当会計年度における日本の経済環境は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより依然として景気の先行きは不透明な状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループは中期3カ年計画「Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～」の初年度として、「バランス経営」を基軸に、よりレジリエンスのある企業体制を構築するとともに、社会との共生を意識して行動し、持続可能な「継栄(けいえい)」を目指して活動を行いました。

その結果、主力商品である「あずきバー」シリーズが好調に推移し、年間販売本数3億本を達成することができました。

そして、2022年度、創業125年・会社設立75周年を迎えます。

また、中期3カ年計画の2年目にあたり、目標達成のための重要な年次となります。将来を見据え、サステナビリティの高い企業構築を進め、激しい環境変化に俊敏に動き出すことで企業成長を確かなものにしてまいります。今なお、新型コロナウイルスの影響は完全に収束した状態でなく、依然油断ができません。引き続きウィズコロナの体制を維持し、ニューノーマル(新常態)における市場変革への対応は喫緊の課題としてまいります。

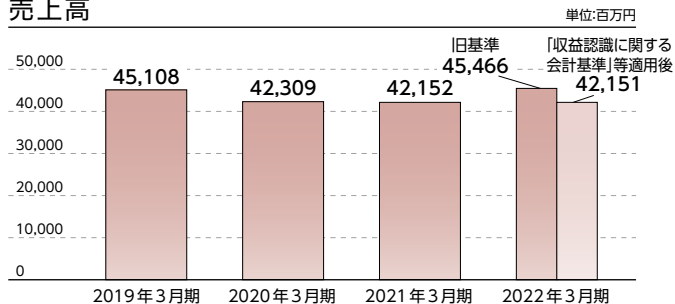
今期においても引き続き、着実な市場拡大への取り組みと生産性向上を主体としたコスト改革を進め、ステークホルダーのみなさまから必要とされる企業グループとして評価いただけるよう、企業価値の向上に努めてまいります。

国内外での今後の消費動向を俊敏にとらえ、世界中に「おいしい!の笑顔」を届ける積極的な展開を行ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

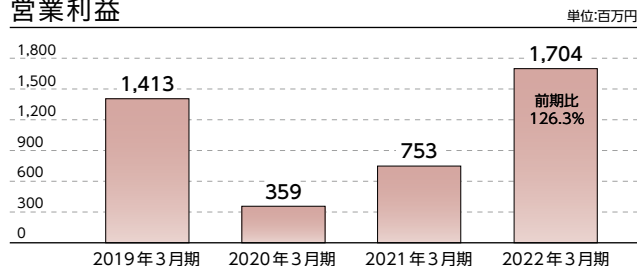
連結財務ハイライト

売上高

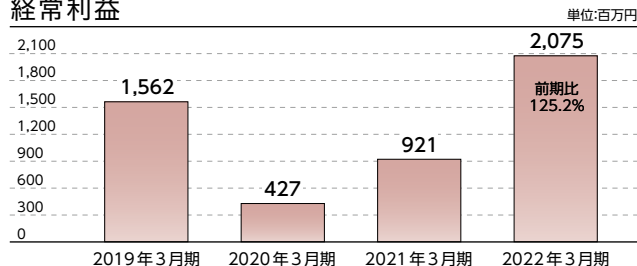


※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた指標となっております。

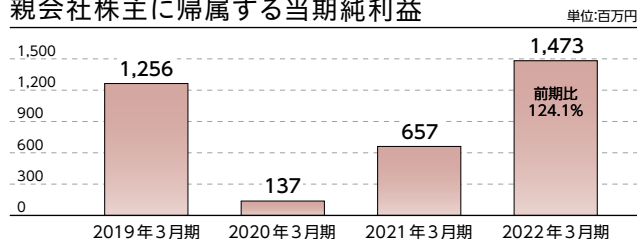
営業利益



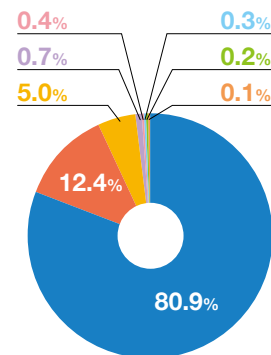
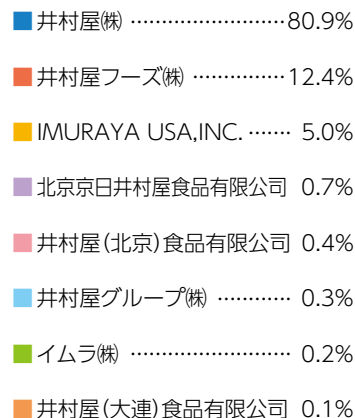
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



持株会社及び事業会社別の売上高



井村屋グループ新・中期3カ年計画

Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～

井村屋グループは2021年度より「Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～」がスタートしております。新しい時代で生き残っていくため、この中期3カ年計画の変革課題を「バランス経営」と定めています。しなやかでバランスのとれた経営を行い、持続可能な「継米」を目指して、目標達成に向けて邁進してまいります。

2024年3月期 目標

<財務指標>

- 売上高 465億円
- 営業利益 19億円
(売上高営業利益率 4.0%)
- 海外事業売上高比率 7.5%

<非財務指標>

- 温室効果ガス排出削減
2013年度比 35%減
- 国内事業廃棄物量削減
2019年度比 50%減
- 女性管理職比率 15%以上

※当社は、2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた指標となっております。

連結貸借対照表(要約)

	前連結会計年度末 2021年3月31日	当連結会計年度末 2022年3月31日
(資産の部)		
流動資産	9,841	10,739
現金及び預金	839	1,069
売掛金	5,017	5,188
棚卸資産	3,203	3,672
その他	782	809
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	19,628	18,683
有形固定資産	16,766	15,811
無形固定資産	148	119
投資その他の資産	2,712	2,751
資産合計	29,469	29,422
(負債の部)		
流動負債	11,254	10,378
固定負債	1,966	1,651
負債合計	13,220	12,030
(純資産の部)		
株主資本	13,794	14,963
その他の包括利益累計額	2,377	2,384
非支配株主持分	76	44
純資産合計	16,248	17,392
負債・純資産合計	29,469	29,422

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 資産

販売増加に伴う現預金及び売掛金、棚卸資産の増加などにより、流動資産は増加いたしました。固定資産の減少により、総資産は減少いたしました。

POINT2 負債

短期借入金の返済や長期借入金及びリース債務の減少などにより、負債が減少いたしました。

POINT3 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益の増加やその他有価証券評価差額金の増加などにより、純資産は増加いたしました。

連結損益計算書(要約)

	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	42,152	42,151
売上原価	29,176	27,344
売上総利益	12,976	14,807
販売費及び一般管理費	12,223	13,102
営業利益	753	1,704
営業外収益	201	400
営業外費用	33	29
経常利益	921	2,075
特別利益	390	239
特別損失	225	92
税金等調整前当期純利益	1,087	2,222
法人税等合計	424	739
当期純利益	662	1,483
非支配株主に帰属する当期純利益	5	10
親会社株主に帰属する当期純利益	657	1,473

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた指標となっております。

- POINT1 冷蔵カテゴリーや食品カテゴリーが好調に推移し、冬物商品においても付加価値の高い「肉まん・あんまん」商品の販売が増加しました。調味料事業では、OEM受託商品の売上が伸長しました。
- POINT2 グループ全体で取り組んでいる食品ロス削減活動や継続した生産性向上活動の効果等により、当期純利益は前年を上回りました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,571	2,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,308	△ 958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,362	△ 2,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 83	△ 30
現金及び現金同等物の期首残高	1,183	1,099
現金及び現金同等物の期末残高	1,099	1,069

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)
前年に比べ、売上債権及び棚卸資産の増加により、収入が減少いたしました。
- POINT2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)
前年に比べ、有形固定資産の取得による支出が減少いたしました。
- POINT3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)
前年に比べ、短期借入金の返済による支出が減少いたしました。

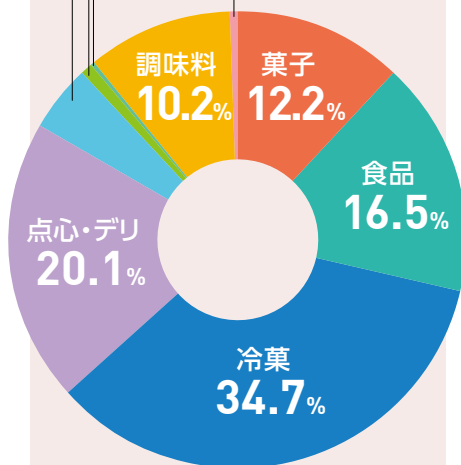
連結売上高
42,151百万円

デイリーチルド 4.6%

スイーツ 1.0%

NVCC 0.2%

その他 0.5%



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた指標となっております。



菓子 5,124百万円

あずきの煮汁を有効活用した「煮あずき製法」による健康志向で機能性の高い「片手で食べられる小さなようかん」や防災用商品の「えいようかん」が順調に推移しました。また、専門店のような出来立ての美味しさをコンセプトにした冷凍和菓子シリーズも好評をいただき、「4コ入大福(つぶあん)」「4コ入きなこおはぎ(つぶあん)」「4コ入あん入黒糖わらび餅(こしあん)」「4コ入あったか餅入ぜんざい」の売上が伸長しました。また、海外市場においても、IMURAYA USA, INC. (IMU) では井村屋株式会社及び井村屋(大連)食品有限公司(中国)から輸入したカステラの売上が増加しました。



食品 6,946百万円

和風スイーツとして好評をいただいている「カップおしるこ」「レンジで簡単おしるこ」「レンジで簡単ぜんざい」が引き続き好調に推移しました。「冷凍バックまん」では、「4個入冷凍バックまん」シリーズや「ゴールドまん」シリーズが伸長し、新商品の「井村屋謹製 餡ぱん」「井村屋謹製 カリーぱん」コレステロールゼロの「2コ入 大豆ミートまん」も好評をいただき売上が増加しました。また、井村屋フーズ株式会社の食品加工事業では新スパウチ工場が昨年3月より本格稼働し、新規受注も増え順調に推移しました。



冷菓 14,675百万円

冷菓商品は、主力商品の「BOXあずきバー」シリーズ、「北海道あずきバー」が好調に推移し、「あずきバー」各種合計は過去最高の売上本数となりました。ボールアイスでは「×ロンボールkids」が売上を伸ばしました。また、「やわもちアイス」シリーズの「やわもちアイス 大学いも味」や新商品「ごろろん果肉アップルパイバー」、「ガトーショコライス」なども好評をいただき売上に貢献しました。IMUでは、「やわもちアイス」など日本からの輸入商品の売上が増加しました。また、マレーシアのIMURAYA MALAYSIA SDN.BHD. (IMM) では「あずきバー」シリーズの特徴を生かしつつ、現地向けに対応した「AZUKI BAR(RED BEAN)・(MATCHA)・(MILK)」の3品種を発売し、販売店舗数の増加に向け活動を強化しております。



点心・デリ 8,490 百万円

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響もありましたが、付加価値の高い商品が好評をいただき、コンビニエンスストアを中心とする売上は、前年を上回りました。



NVCC 79 百万円 (New Value Creation Company 新価値創造)

NVCCカテゴリーでは、国内の新規事業として、三重県の水と酒米、酵母を使用し、テロワールに根差した日本酒の製造・販売を行う「福和蔵(ふくわくら)」と、和菓子を販売する「菓子舗井村屋」の2店舗を三重県多気町の大型商業リゾート施設「VISON(ヴィソン)」内にて運営しております。「福和蔵」においては、年間を通じて作りたての清酒「福和蔵」を提供し(四季醸造)、三重県新酒品評会において、「福和蔵 純米酒」と2022年4月から数量限定で販売を開始した「福和蔵 純米大吟醸」が優等賞を受賞しました。「菓子舗井村屋」においても、「酒々(ささ)まんじゅう 芳醸菓」など特色のある商品を店舗にて販売し、好評を得ております。



デリーチルド 1,933 百万円

「豆腐類」では長期保存が可能な「大豆屋和蔵 大豆ッ子」が順調に推移し、賞味期間180日間を実現した新商品「美し豆腐 LONG SHELF LIFE 180」も発売、売上が増加しました。「チルドパックまん」は販売方法の改革に取り組み、売上は減少しましたが、収益面の改善が図られました。



調味料 4,288 百万円

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業が本事業を担当し、家庭内食向けの需要増加に引き続き対応しました。また、機能性素材も堅調に推移しました。売上も「収益認識に関する会計基準」適用前では前年対比で増加しました。中国での調味料事業は新型コロナウイルス感染対策強化の影響により、中国国内の売上が減少しました。



スイーツ 407 百万円

スイーツカテゴリーでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、各店舗で品質管理と感染防止対策を徹底し、お客様満足の向上に努めました。各店舗の客数も回復傾向となり、売上は前年を上回りました。その中でも「La maison JOUVAUD(ラ・メゾン・ジュヴォー) 広尾店」では引き続きティイクアウト商品の売上が増加し順調に推移しました。



その他 207 百万円

イムラ株式会社において井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は、感染拡大防止策を徹底して開催し、多くのお客様に来場いただきました。また、「ソフトアイスクリーム&スイーツ店 WaiWai(ワイワイ)」においては、JOUVAUDの人気商品「クロワッサン・ワッフル」や「カヌレ」を販売し、季節のスイーツを提供するなど売場の活性化を図りました。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,800株を含む)
単元株式数	100株
株主数	10,337名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,289	9.85
株式会社三十三銀行	647	4.94
株式会社百五銀行	578	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	559	4.27
井村屋取引先持株会	550	4.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	343	2.62
株式会社サンライフ	321	2.45
株式会社りそな銀行	286	2.18
株式会社西村商店	239	1.82
株式会社榎本武平商店	214	1.63

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

- (ご注意)
- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬にお送りいたしております。以下は、2022年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の井村屋
オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト
次の3種類からお一つお選びいただけます。

アイスクリーム&
冷凍和菓子詰合せ



福和蔵
日本酒詰合せ



マイギフト MG-15



※②でアイスクリーム&冷凍和菓子詰合せをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

MINT ReSET ストロングミントゼリー・ ライムミントゼリー



「ストロングミントゼリー」は口の中だけではなく、身体の中まで冷たく感じるような強刺激で、水分を含むゼリータイプのため、口に入れた瞬間から冷涼感が突き抜けます。「ライムミントゼリー」はライムの爽やかな香りとミントの清涼感を楽しめます。個包装パッケージには井村屋独自の「ギュッと押すだけパッケージ」を採用。押すだけで中身が出てくるので、手軽にサッと食べられます。また、袋を切る必要がないため切れ端ゴミが発生せず、外出時や仕事机での喫食に最適です。

井村屋謹製 カリーぱん



もっちりとした二段発酵生地と「蒸し+焼き」の技術を融合させた、これまでにない魅力を提供する冷凍パンとしてご好評いただいているバイクド・デリシシリーズの新商品です。

玉ねぎや完熟トマト、4種の果物の旨味・甘味を感じられるカレーに、ゴーダ・モッツアレラ・エメンタールの3種のチーズを使い、チーズの伸びやおいしさが味わえます。パン生地は、香りが良い北海道産の小麦粉を使用し、二段発酵製法で風味のあるしっとりとした生地に仕上げました。レンジ加熱後、トースターで「リバイク」することで焼き立てのおいしさがいつでもお楽しみいただけます。

やわもちアイス みかん大福味



やわもちアイスシリーズは、2012年に発売して今年で10周年を迎えました。10周年記念商品として、近年人気のフルーツ大福の定番であるみかん大福を再現しました。温州みかんの果汁・果肉を使ったソースにさっぱりとしたみかんアイスを合わせ、ほのかな甘みのある白あんとおもちでまるでみかん大福を食べているかのようなおいしさをお楽しみいただけます。

チーズテリーヌアイス



しっとりとしたチーズケーキの上に、濃厚・濃密食感のチーズアイス、香ばしいチーズソースを重ね、まるでチーズテリーヌのような見た目と味わいを楽しめるアイスです。

チーズアイスには、北海道産のクリームチーズと生クリームを使い、レモン果汁を加えることで濃厚且つ爽やかな後味に仕上げました。日々のご褒美アイスとして、チーズの濃厚さと風味をぜひお楽しみください。

「令和3年度 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」受賞



バイオマスボイラ



ガスコージェネレーションシステム

環境省が主催する「令和3年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」を受賞しました。この表彰は、資源やエネルギーの3R(リデュース・リユース・リサイクル)や熱回収の推進など循環型社会の形成に功績があった企業などを表彰するものです。当社グループは、食品ロス削減やバイオマスボイラの運用など温室効果ガス削減に向けた取り組みとともに、環境保全活動やあずきを通じた環境啓発などの地域貢献が評価され、受賞となりました。

「第30回 食品安全安心・環境貢献賞」受賞



日本食糧新聞社が主催する「食品安全安心・環境貢献賞」は、安全・安心、環境保全に対応した、食品産業に属する企業・団体を対象に先駆的・先端的な活動、成果を表彰するもので、食品の安全・安心や環境保全活動に加え、社会貢献なども選考の目安となっています。当社グループは、食品ロス削減やCO₂削減に継続して取り組むことで、企業価値の向上へとつながっている面を評価いただき、1998年に続き2回目の環境貢献賞受賞となりました。

「第53回東海テレビ文化賞」受賞

東海テレビ放送株式会社が開局10周年と明治100年の記念行事の一環として、1968年(昭和43年)に制定し、今年で53回目の歴史ある「東海テレビ文化賞」を弊社社長浅田が受賞しました。この賞は、多年に渡り社会、文化、芸術、産業などの分野で優れた功績のあった地域ゆかりの方々を顕彰するもので、当社グループが取り組むあずきを中心とした食文化の伝承や子どもたちへの食育活動、積極的なCO₂削減などの環境保全活動を牽引したことなどが評価されました。



代表取締役会長 浅田剛夫



おからのアップサイクル※1を開始

食品産業に従事する企業として、食品廃棄物の発生抑制や再生利用に係る取り組みを推進するとともに、循環型社会推進に向けた取り組みを「エコロジカルはエコノミカル」と称して全社で取り組んでおります。また、SDGsスローガン「笑顔を未来へ～imuraya challenge 2030～」のもと、持続可能な食品製造とともに食品ロス削減においても食品残渣をアップサイクルする方針で検討してきました。

豆腐の生産工程で発生する副産物「おから」は、大豆のしぼりかすとして、一般的にその多くが産業廃棄物として処理されております。当社においても長年、その利用については検討を重ねてまいりましたが、おからは品質の安定化が難しく、これまで思い切った動きにはつながりませんでした。このたび、三重県の地元スーパー様に弊社の趣旨をご賛同いただき、冷凍おからを使った惣菜が販売となりました。

今後は、「おから」以外にも活動の幅を広げ、食品ロス削減とともにアップサイクルによる新価値創造を進めてまいります。



当社の豆腐商品



生産時副産物「おから」



当社の冷凍おからが活用された
地元スーパー様の惣菜「卵の花」

※1 アップサイクルとは、これまで捨てられていた廃棄物や不用品の素材や特徴を活かし、新たな付加価値を持たせた別の新しい製品を生み出すことです。

※2 この活動はSDGsの17の目標のうち、「12.つくる責任 つかう責任」に該当する取り組みです。

2022年度 50周年商品

【メロンボール】



メロンボールは1972年に発売を開始し、今年度で50周年を迎えます。発売当初、メロンは高級品で手に入りにくいものだったことから、メロンをイメージした味のシャーベットアイスを作ろうと考えたのがきっかけで誕生しました。50周年を記念して、キャンペーンを実施しました。また、教育番組で人気のある「わくわくさん」と容器を使ったコラボ動画も配信中です。

【豆腐】



長期保存や有機・小容量など食生活に合わせた豆腐を販売しております。今年度は、豆腐発売50周年の節目の年を迎え、お客様に長くご愛顧いただいていた感謝と未来の豆腐商品に向けた気持ちを込めて「井村屋のおとうふ50年 これからも笑顔のために」キャンペーンを実施しております。(キャンペーンサイト URL: https://imuraya-cp.jp/2022_toufu50th_cp/)

やわもちアイス 岡崎紗絵さんを新イメージキャラクターに！



やわもちアイスシリーズは、「甘味処の和スイーツを、おうちで。」をコンセプトに、冷凍下でもやわらかく、もちもちしたおもちと、さまざまな素材を重ねた贅沢感を手軽に味わえるアイスです。2012年に発売して以来、多くのお客様に本格的な和スイーツとしてご好評いただき、おかげ様で今年度10周年を迎えます。



今回、10周年を盛り上げるために女性ファッション誌「Ray」の専属モデルであり、ドラマなどで活躍されている岡崎紗絵さんにやわもちアイスの新イメージキャラクターを務めていただきます。

やわもちアイス10周年のコンセプトである「やわらかなきもちを、あなたに。」にぴったりのイメージを持つ岡崎紗絵さんに出演いただいている新CMもスタートし、ホームページで公開中です。

さらに、やわもちアイス10周年の記念サイトもオープンし、10周年記念情報のほか、過去商品のラインナップ・10年の変遷などを掲載しています。また、季節限定フレーバーとして、やわもちの原点となる「和」「おもち」にフォーカスし、日本の「もち菓子」をアイスで表現し、発売していきます。

現在、第2弾の「やわもちアイス みかん大福味」が発売中です。記念商品は第4弾まで予定しておりますので、ぜひご期待ください。



【第1弾】

やわもちアイス よもぎもち味

※こちらの商品は販売終了しております。



【第2弾】

やわもちアイス みかん大福味

※販売期間 2022年9月末まで(予定)

やわもちアイス10周年
記念サイトはこちら



記念サイトURL:

https://imuraya-cp.jp/2022_yawamochi_10th/

持株会社 概況(2022年6月17日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地	三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業	明治29年(1896年)
設立	昭和22年(1947年)4月
資本金	2,576百万円
従業員数	46名 ※グループ全体では964名(2022年3月31日現在)
事業内容	事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理
役員・執行役員	代表取締役会長(CEO)(CMO) 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) 中島 伸子 取締役副社長 菅沼 重元 取締役副社長 岩本 康 専務取締役(CFO) 富永 治郎 取締役 岩上 真人 取締役 前山 健 取締役 大西 安樹 取締役(社外) 西岡 慶子 取締役(社外) 田中 里沙 取締役(社外) 福谷 朋子 常勤監査役 脇田 元夫 常勤監査役 森井 英行 監査役(社外) 若林 正清 監査役(社外) 土田 繁 執行役員専務 甲斐下方俊 執行役員常務 行方 貞彦 執行役員常務 井村 慎 執行役員常務 近藤 久嗣 執行役員常務 益川 博 執行役員 岡田 孝平 執行役員 尾崎 弘二 執行役員 山路 明

(注) 取締役西岡慶子氏・田中里沙氏・福谷朋子氏の3氏は社外取締役であります。監査役若林正清氏・土田繁氏の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2022年6月17日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社
所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷凍、スイーツ、酒類の製造販売
代表者：岩本 康 URL: <https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社
所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子、食品、冷凍、調味料、食品添加物の製造販売
代表者：菅沼 重元 URL: <https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社
所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
代表者：中島 伸子 URL: <https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司
所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼103
事業内容：調味料の販売
代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/jjif/>

井村屋(北京)食品有限公司
所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼102
事業内容：菓子、点心・デリの販売
代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.
所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷凍の製造販売及び菓子、食品、冷凍の輸入販売
代表者：浅田 剛夫、甲斐下 方俊 URL: <https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司
所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：菓子、調味料の製造販売
代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司
所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/icm/>

井村屋スタートアッププランニング株式会社
所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
代表者：大西 安樹

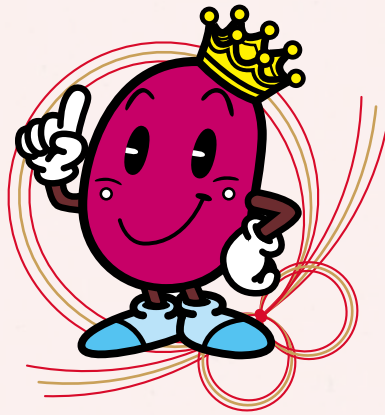
IMURAYA MALAYSIA SDN.BHD.
所在地：No.18-3, Jalan PJU 8/5c, Damansara Perdana, 47820 Petaling Jaya, Selangor
事業内容：冷凍の製造、販売、輸出入
代表者：大西 安樹、小川 篤 URL: <https://www.imuraya.com.my/>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



井村屋グループはSDGsの考え方を尊重し
社会性を重視したサステナブル経営に
取り組んでまいります。